

学校番号	404
------	-----

令和6年度 芸術科 音楽

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「MOUSA 1」 (教育芸術社)						
副教材等	New Recorder Library (教育芸術社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

1年間を通して、鑑賞と歌唱や器楽実技を行います。実際に音を出して演奏する過程で音楽の基礎や構造を知り、鑑賞では作曲された背景を知ります。アンサンブル活動は、ほかの生徒さんの演奏を聞き、多様な考え方に触れる機会です。1年の最後には、「この音楽はどのように演奏するのがふさわしいか」を考えながら楽曲演奏に取り組む主体的な活動をめざします。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした歌唱表現を身に付けている。 ・創意工夫を生かした器楽表現を身に付けている。 ・創意工夫を生かした創作表現を身に付けている。 <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現を理解している。 	<p>【表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現・器楽表現・創作表現を創意工夫している。 	<p>主体的に協動的に歌唱分野・器楽分野・創作分野の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	鑑賞	・鑑賞(6曲)	a:様々な国の楽曲に触れ、作品の背景を学び、音楽の構成を考えながら鑑賞することができる。 b:自分の感じたこと、考えたことを記述することができる。 c:適切な鑑賞する姿勢や態度を示すことができる。	学習プリント	学習プリント	観察・聴取 学習プリント
	表現	・器楽 ・歌唱	a:正確な音程・リズムを理解することができる。 b:正確な音程やリズム、拍子を表現することができる。 c:個人練習だけでなく、他の生徒と協働的に学習し、練習に取り組むことができる。	学習プリント 課題進 度状況 実技試 験	学習プリント 課題進 度状況	観察・聴取 学習プリント
2	鑑賞	・鑑賞(6曲)	a:様々な国の楽曲に触れ、作品の背景や作曲家の意図を考えながら鑑賞することができる。 b:自分の感じたことや考えたことだけでなく、使われている音楽の構成や要素を適切な語彙用いて表現することができる。 c:適切な鑑賞する姿勢や態度を示すことができる。	学習プリント	学習プリント	観察・聴取 学習プリント
	表現	・器楽アンサンブル ・歌唱(独唱・二重唱)	a:正確な音程・リズムを理解し、ダイナミズムやフレージング等の要素を理解することができる。 b:学習した音楽の要素を楽曲演奏に用いることができる。 c:個人練習だけでなく、他の生徒と協働的に学習し、意見や考えを共有しながら練習に取り組むことができる。	学習プリント 課題進 度状況 実技試 験	学習プリント 課題進 度状況	観察・聴取 学習プリント
3	鑑賞	・鑑賞(3曲)	a:様々な国の楽曲に触れ、自国の音楽との違いを理解し鑑賞することができる。 b:音楽の特徴や違いを具体的に記述することができる。 c:適切な鑑賞する姿勢や態度を示すことができる。	学習プリント	学習プリント	観察・聴取 学習プリント

※令和4年度以降入学生用

	表現	・器楽アンサンブル	<p>a:正確な音楽の要素を理解し、表現する際どのように用いるかを考えることができる。</p> <p>b:正確な音楽の要素を用いて楽曲演奏することができる。</p> <p>c:個人練習だけでなく、他の生徒と協働的に活動し、楽曲演奏を完成させることができる。</p>	<p>学習プリント 課題進 度状況 実技試 験</p>	<p>学習プリント 課題進 度状況</p>	<p>観察・聴 取 学習プリ ント</p>
--	----	-----------	--	---	-------------------------------	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 美術科

教科	美術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「美術 1」 (光村図書)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<p>・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。</p> <p>・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現方式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に見方が広がったり深まったりします。</p>
--

2 学習の到達目標

<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり身につけることをめざす。</p> <p>(a) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫しながら身につけ、創造的に表す力を身につける。(b) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。(c) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情と感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につける。</p>

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	造形的な視点を豊かにするための知識を理解している。創造的な表現をするために必要な技能を身につけている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成している。創造的な表現の構想を練り、意図に応じて表現方法を工夫している。美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	色彩構成	<ul style="list-style-type: none"> 色鉛筆を用いて、色彩効果を学ぶ。色彩の体系を理解して、思い通りに混色、配色ができるようになる。 	a: 色彩の効果について正しく理解し活用している b: 主題に見合った効果的な配色を工夫し表現できている c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	学習プリント 取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り
	油彩静物画	<ul style="list-style-type: none"> 二点透視図法を学ぶ。 画面の大きさに見合った構図やバランスのとれた配置を学ぶ。 油絵具の扱いに慣れる。 塗り重ねやグラデーションの技法を学ぶ。 質感の表現を学ぶ。 合評会 	a: 二点透視図法を理解し正確な形を描けている 油絵具の特性について理解し作品を制作できている b: モチーフの特徴を感じ取り、質感の表現を工夫している それぞれの作品の良さを感じ取ることができている c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出作品	提出作品 合評会	取組状況 振り返り
	デザインロゴマーク	<ul style="list-style-type: none"> 意図と伝達効果の視点からデザインを理解する。 自分の名前をロゴデザインし、色鉛筆で着彩する。 	a: 色彩や形態の視覚効果について正しく理解し活用している b: 主題に見合った効果的な配色を工夫し表現できている c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	学習プリント 取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り
2	メディア表現	<ul style="list-style-type: none"> 現代アートやメディアによる発信について触れ、制作意図やその表現方法の可能性について考える 	a: 芸術が人々の心に与える効果について正しく理解している b: 主題に見合った表現を工夫しアイデアに反映できている c: 深い考察をもとにしてアイデアを出している	学習プリント 取組状況 提出物	提出物	取組状況 振り返り
	鉛筆デッサン基礎	<ul style="list-style-type: none"> 形のとり方やタッチのつけ方など、鉛筆デッサンの基礎を学ぶ。 石膏レリーフ(面取り)のデッサンを通して、明暗を捉えて立体感を表現する技術を身につける。 自画像デッサンを通して、顔の立体感や形状、線の流れを捉えて表現する技術を身につける。 合評会 	a: 鉛筆デッサンの技法を学び、表現に合った鉛筆を使うことができる モチーフの形態や特徴を観察し正確に描くことができる b: タッチの強弱や粗密を工夫しながらモチーフの質感や立体感を表現している c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	学習プリント 取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り

※令和4年度以降入学生用

	油彩「顔」	<ul style="list-style-type: none"> ・「自画像」または「タレントの顔」を油絵で描く。 ・これまで学んだ知識や技術をすべて使って、力強くかつ繊細に描く。 ・画面構成、立体感、細部の表現、肌や髪の毛の質感、色の深みや奥行きなどをじっくりと描き出す。 ・合評会 	<p>a:対象をよく観察し正確な形を捉えて描くことができる 混色や塗り重ねで意図した色を作り出すことができる</p> <p>b:人物の特徴や内面性を表現し描き出す工夫をしている</p> <p>c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している</p>	取組状況 提出作品	提出作品 合評会	取組状況 振り返り
3	油彩「三面図」	<ul style="list-style-type: none"> ・煮干を油絵で写実的に表現し、三面図を作成する。 ・形状や色彩を把握する。 	<p>a:対象をよく観察し正確な形を捉えて描くことができる 混色や塗り重ねで意図した色を作り出すことができる</p> <p>b:個体の繊細な色みや特徴を表現できている</p> <p>c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している</p>	取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り
	彫塑「煮干しマグネット」	<ul style="list-style-type: none"> ・煮干しの形状を立体的に把握し、木彫で再現する。 ・用途に合った適切な道具を選び、安全に扱って作品を制作する。 ・アクリル絵具の特性を理解する。 ・個体の細部の色味を感じ取りながら、忠実に再現し着色する。 	<p>a: 木彫の技法を学び、表現に合った道具を使うことができる 対象をよく観察し正確な形を掘ることができる</p> <p>b: 個体の複雑な形状の変化を再現し、繊細な色みや特徴を表現できている</p> <p>c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している</p>	取組状況 提出作品	提出作品 合評会	取組状況 振り返り

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 美術科

教科	美術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「美術 1」 (光村図書)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
 ・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現方式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に見方が広がったり深まったりします。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(a) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫しながら身につけ、創造的に表すことができるようにする。(b) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。(c) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく情操を培う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	造形的な視点を豊かにするための知識を理解している。創造的な表現をするために必要な技能を身につけている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成している。創造的な表現の構想を練り、意図に応じて表現方法を工夫している。美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	油彩 接写	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや目標を理解し、主体的に学習する。 ・テーマに基づいて自身が撮影した写真から、素材を選び、構図や表現について構想を練る。 ・主題となる素材の魅力やイメージ、色の深みを丁寧に捉え、精密に表現する。 ・主題と背景との対比を表現し、画面全体を魅力あるものに仕上げる。 ・合評会 	<p>a:課題の主題や技法について正しく理解している</p> <p>b:素材を観察し特徴を捉えて表現を工夫できている</p> <p>c:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している</p>	取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り
2・3	卒業制作	<ul style="list-style-type: none"> ・自身が選んだテーマに基づいて、高校生活の記念となる平面作品を制作する。 ・木製B2パネルを用い、油彩、水彩、コラージュなど、思い思いの技法を使って平面作品を制作する。 ・各自が制作手順と日程の計画を立て企画書を作成する。 ・合評会 	<p>a:制作意図に基づき、主体的に作品を作り出すことができる</p> <p>b:想像力を働かせ、自由に柔軟な発想で作品を制作できる</p> <p>c:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している</p>	取組状況 提出作品	企画書 アイディア スケッチ 提出作品	取組状況 振り返り

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「 書 I 」 (光村出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

小・中学校の書写学習を基礎として表現や鑑賞など書に親しむ活動を通して豊かな感性を育て書を愛好し、自己を主体的に表現するための書道の基礎的な能力を育み伸ばして行きましょう。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯学習にわたり書を楽しむ心を育てると共に感性を高め、書の美しさを理解して書写能力の向上を図る。また、表現と鑑賞能力を伸ばして様々な書風に触れ伝統と文化について理解を深める。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書	<p>・楷書の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。</p> <p>・楷書の古典の書風の即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。(創作)</p>	<p>a:古典の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。(知)</p> <p>a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。(鑑・知)</p> <p>a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技)</p> <p>b:古典のよさや美しさを感じ、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆・運筆、字形などを工夫している。</p> <p>b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の良さや美しさを楽しむ捉えている。(鑑)</p> <p>c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p> <p>c:書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)</p>	作品	プリント	<p>振り返り プリント</p> <p>観察</p>
2	篆刻	<p>・篆刻の歴史を知り、理解する。</p> <p>・篆刻の魅力に触れ、工夫しながら制作に取り組む。</p>	<p>a:古典の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。(知)</p> <p>a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。(鑑・知)</p>	作品	プリント	<p>振り返り プリント</p> <p>観察</p>

※令和4年度以降入学生用

	<p>行書の書</p>	<p>・行書の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。</p> <p>・行書の古典の書風の即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。(創作)</p>	<p>a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技)</p> <p>b:古典のよさや美しさを感じ、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆・運筆、字形などを工夫している。</p> <p>b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。(鑑)</p> <p>c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p> <p>c:書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)</p>	<p>作品</p>	<p>プリント</p>	<p>振り返り プリント</p> <p>観察</p>
	<p>漢字仮名交じりの書</p>	<p>・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>・意図に基づき、漢字(楷書・行書)と仮名の調和した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(創作)</p>	<p>a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知)</p> <p>a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。(鑑・知)</p> <p>a:目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。(技)</p> <p>b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。</p> <p>b:想像された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑)</p> <p>c:自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>C:書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)</p>	<p>作品</p>	<p>プリント</p>	<p>振り返り プリント</p> <p>観察</p>

※令和4年度以降入学生用

3	仮名の書	<p>・臨書を通じて、古典(平仮名・変体仮名・片仮名)の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。</p> <p>・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(創作)</p>	<p>a:古典の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。(知)</p> <p>a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。(鑑・知)</p> <p>a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技)</p> <p>b:古典のよさや美しさを感じ、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆・運筆、字形などを工夫している。</p> <p>b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。(鑑)</p> <p>c:仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p> <p>c:書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)</p>	作品	プリント	振り返り プリント 観察
---	------	---	---	----	------	------------------------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「MOUSAⅡ」 (教育芸術社)						
副教材等	「Music Navigation」 (教育出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

音楽Ⅱでは、①器楽 (1年次で学習した内容と打楽器) ②歌唱 (日本歌曲・ドイツ歌曲等・3部・4部合唱) ③鑑賞④楽典 (音楽理論)、の4つの分野を学習します。グループワーク (アンサンブル) では、他の生徒さんと一緒にひとつの楽曲を作りあげることが目標にします。興味を持って積極的に参加し、楽曲の学習・練習に一生懸命取り組む姿勢が大切です。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。(3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・器楽表現に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに歌唱・器楽表現を創意工夫している。 ・創意工夫や表現上の効果を生かした歌唱・器楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 ・様々な音素材や様式、表現形態などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができる。 ・音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせを理解している。 	<p>主体的・協働的に歌唱・器楽・創作・鑑賞分野の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	表現	・器楽 ・歌唱(二重唱)	a: :曲にふさわしい発声や奏法、言葉の発音、身体の使い方などの技能を理解することができる。 b: 他者との調和を意識して演奏・歌う技能を理解することができる。 c: 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏・歌う技能を理解することができる。	実技試験 取り組み 状況 協働的な学習	実技試験 取り組み み状況 協働的な学習	ワークシート 観察法
	鑑賞	・ロマン派・近現代の音楽6曲	a: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解することができる。 b: 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解することができる。 c: 我が国の郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解することができる。	鑑賞シート	鑑賞シート	鑑賞シート
2	表現	・器楽アンサンブル① ・歌唱(三重唱) ・楽典(音楽理論) ・伝統芸能②	a: :曲にふさわしい発声や奏法、言葉の発音、身体の使い方などの技能を考え、表現することができる。 b: 他者との調和を意識して演奏・歌う技能を考え、表現することができる。 c: 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏・歌う技能を考え、表現することができる。	実技試験 筆記試験 取り組み 状況 協働的な学習	実技試験 ワーク 取り組み 状況 協働的な学習	ワークシート 観察法 取り組み 状況
	鑑賞	近現代の楽曲5曲	a: 曲や演奏に対する評価とその根拠を考え、表現することができる。 b: 自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考え、表現することができる。 c: 音楽表現の共通性や固有性を考え、理解することができる。	鑑賞シート	鑑賞シート	鑑賞シート

※令和4年度以降入学生用

3	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽アンサンブル② ・歌唱(合唱) ・音楽史 	<p>a: 歌唱や器楽演奏に関わる知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに歌唱・器楽演奏を創意工夫することができている</p> <p>b: 他者との調和を意識して演奏・歌う技能を理解し、表現することができる。</p> <p>c: 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することができる。</p>	実技試験 取り組み状況 協働的な学習	実技試験 ワーク 取り組み状況 協働的な学習	ワークシート 観察法 取り組み状況
	鑑賞	鑑賞3曲	<p>a: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解することができる。</p> <p>b: 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解することができる。</p> <p>c: 曲や演奏に対する評価とその根拠と、自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考え、音楽のよさ美しさを深く味わって聴くことができている。</p>	鑑賞シート	鑑賞シート	鑑賞シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 美術科

教科	美術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「美術2」 (光村図書)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現方式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に見方が広がったり深まったりします。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり身につけることをめざす。(a) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し個性豊かで創造的に表す力を身につける。(b) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練り、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。(c) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情と感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	造形的な視点を豊かにするための知識を理解している。創造的な表現をするために必要な技能を身につけている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成している。創造的な表現の構想を練り、意図に応じて表現方法を工夫している。美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	油彩 模写	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れや目標を理解し、主体的に学習する姿勢をつくる。 教科書や画集から、好みの名画を選び、表現技法や作品に込められた作者の思いを鑑賞する。 構図はもとより、作品の醸し出すイメージ、色の深み、筆のタッチなどを丁寧に捉え、画面表現する。 合評会 	a: 原画の主題や技法について正しく理解している b: 原画を観察し特徴を捉えて表現を工夫できている c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り
	彫刻 名画のレリーフ	<ul style="list-style-type: none"> 模写の課題で描いた作品をレリーフに起こす。表現技法や作品に込められた思いを感じ取りながら、想像力を働かせて凹凸を刻む。 用途に合わせて適切な道具を選びそれらを安全に扱って作品を作る。 作品の醸し出すイメージを忠実に再現し着彩する。 合評会 	a: 表現の用途に合わせた彫刻刀を安全に使用する b: 平面作品の奥行きを想像しながら、工夫して表現している それぞれの作品の良さを感じ取ることができている c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出作品	提出作品 合評会	取組状況 振り返り
2	籐工芸 かご	<ul style="list-style-type: none"> 美術領域と工芸領域の違いを知る。 籐編みの技術を学び、屑かごを制作する。 色染めした籐を編み込み、好みの模様をつける。 	a: 美術領域と工芸領域の違いについて正しく理解している 素材の特性と、特性を生かした技法を正しく理解している 適度な力加減で根気良く作業を継続し、美しい作品を作る技術を身につけている b: 出来上がりをイメージして、効果的に模様を入れることができている c: より良い作品作りのために根気よく丁寧に作業している	取組状況 提出物	提出物	取組状況 振り返り

※令和4年度以降入学生用

	立体塑像 動きを表す	<ul style="list-style-type: none"> ・「動きを表す言葉」からイメージした形を、立体作品に表現する。 ・制作意図に基づいてデザインしたフォルムを三面図に起こす。 ・石膏粘土で塑像し、彫刻や磨き作業を施す。 ・アクリル絵具で着彩する。 ・合評会 	<p>a: 立体作品の必要条件について理解し、留意して制作する 制作意図に基づいてデザインしたフォルムを三面図に起こす</p> <p>b: 想像力を働かせ、イメージを膨らませて立体作品に表現する</p> <p>c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している</p>	取組状況 提出作品	提出作品 合評会	取組状況 振り返り
3	自由制作 フレームアート	<ul style="list-style-type: none"> ・混合技法によってイメージを表現する。 ・木製B4パネルを用い、油彩、水彩、コラージュ、レリーフ、工作など、思い思いの技法を使って作品を制作する。 ・各自が制作手順と日程の計画を立て企画書を作成する。 ・合評会 	<p>a: 制作意図に基づき、主体的に作品を作り出すことができる</p> <p>b: 想像力を働かせ、自由に柔軟な発想で作品を制作できる</p> <p>c: より良い作品作りのために試行錯誤し努力している</p>	取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「書Ⅱ」 (光村出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

書道における表現と鑑賞の幅広い活動の中で、感性を高め、書の伝統や文化についての理解を深めていきます。様々な場面に対応できる書写能力を育て、主体的に自己を表現する能力を高めていきましょう。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のおよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書のおよさを味わい深く捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、多様性について理解している。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な具能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書のおよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書のおよさを味わい捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞を創造的に活動に取り組もうとしている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

※令和4年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 ・楷書の古典の書風の即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。(創作) 	<p>a: 古典の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。(知)</p> <p>a: 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。(鑑・知)</p> <p>a: 書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技)</p> <p>b: 古典のよさや美しさを感じ、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆・運筆、字形などを工夫している。</p> <p>b: 創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。(鑑)</p> <p>c: 漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p> <p>c: 書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)</p>	作品	プリント	振り返りプリント 観察
2	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻の歴史を知り、理解する。 ・篆刻の魅力に触れ、工夫しながら制作に取り組む。 	<p>a: 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知)</p> <p>a: 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。(鑑・知)</p>	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和4年度以降入学生用

2	漢字仮名交じりの書	<p>・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>・意図に基づき、漢字(楷書・行書)と仮名の調和した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(創作)</p>	<p>a: 目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。(技)</p> <p>b: 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。</p> <p>b: 想像された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑)</p> <p>c: 自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>C: 書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)</p>	作品	プリント	振り返りプリント
---	-----------	---	--	----	------	----------

※令和4年度以降入学生用

3	仮名の書	<p>・臨書を通じて、古典(平仮名・変体仮名・片仮名)の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。</p> <p>・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。(創作)</p>	<p>a:古典の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。(知)</p> <p>a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。(鑑・知)</p> <p>a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技)</p> <p>b:古典のよさや美しさを感じ、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆・運筆、字形などを工夫している。</p> <p>b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。(鑑)</p> <p>c:仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。</p> <p>c:書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)</p>	作品	プリント	振り返りプリント
---	------	---	---	----	------	----------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「Joy of Music」 (教育芸術版)						
副教材等	プリント教材						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

音楽Ⅲでは、音楽Ⅱで学習した内容をさらに興味深く展開します。①器楽②歌唱 (日本歌曲・ドイツ歌曲等・3部・4部合唱) ③鑑賞の4つの分野を総合的に学習し、協働的に作品を演奏し、創り上げることを目標とします。興味を持って積極的に参加し、楽曲の学習・練習に一生懸命取り組む姿勢が大切です。

2 学習の到達目標

表現と鑑賞の学習を通して、以下に示す (1) (2) (3) を学習の到達目標とします。
 (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
 (2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。
 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観 点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性を理解する。 ・曲を演奏することと生活や社会との関りを理解する。 ・他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 ・文化や芸術としての音楽の意味や価値、歴史的背景を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせを理解している。 ・音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 	<p>主体的・協働的に歌唱・器楽・創作・鑑賞分野の学習活動に取り組もうとしている。</p>

※令和4年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽 ・歌唱 ・合唱 ・グループアンサンブル 	(a) 曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性を理解しようとしているか。 (b) 曲を演奏することと生活や社会との関りを理解する。 (c) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 (d) 文化や芸術としての音楽の意味や価値、歴史的背景を理解しようとしている。 (e) 主体的・協動的に歌唱・器楽・創作・鑑賞分野の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 取り組み状況 協働的な学習	実技試験 取り組み状況 協働的な学習	ワークシート 観察法
	・鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽史と関連した楽曲の鑑賞 	(a) 文化や芸術としての音楽の意味や価値、歴史的背景を理解する。 (b) 音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。	鑑賞シート	鑑賞シート	鑑賞シート

※令和4年度以降入学生用

2	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽アンサンブル ・歌唱(日本歌曲を中心に) ・合唱 ・伝統芸能② 	<p>(a) 曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性を理解しようとしているか。</p> <p>(b) 曲を演奏することと生活や社会との関りを理解する。</p> <p>(c) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(d) 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせを理解している。</p> <p>(e) 主体的・協動的に歌唱・器楽・創作・鑑賞分野の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>実技試験</p> <p>取り組み状況</p> <p>協働的な学習</p>	<p>実技試験</p> <p>取り組み状況</p> <p>協働的な学習</p>	<p>ワークシート</p> <p>観察法</p> <p>取り組み状況</p>
3		<ul style="list-style-type: none"> ・アンサンブル(発表) 	<p>(a) 曲の表現内容や様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性を理解しようとしているか。</p> <p>(b) 曲を演奏することと生活や社会との関りを理解する。</p> <p>(c) 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(d) 文化や芸術としての音楽の意味や価値、歴史的背景を理解しようとしている。</p> <p>(e) 主体的・協動的に歌唱・器楽・創作・鑑賞分野の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>実技試験</p> <p>取り組み状況</p> <p>協働的な学習</p>	<p>実技試験</p> <p>取り組み状況</p> <p>協働的な学習</p>	<p>ワークシート</p> <p>観察法</p> <p>取り組み状況</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	404
------	-----

令和6年度 美術科

教科	美術	科目	美術Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「美術3」 (光村図書)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<p>・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。</p> <p>・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現方式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に見方が広がったり深まったりします。</p>
--

2 学習の到達目標

<p>美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり身につけることをめざす。(a) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができる力を身につける。(b) 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる力を身につける。(c) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情や感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につける。</p>

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	造形的な視点を豊かにするための知識を理解し、独創的な構想をもとに、意図に応じて創造的に表現する技能を身につけている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成している。創造的な表現の構想を練り、意図に応じて表現方法を工夫している。美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、多様な表現や美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	油彩 「 <u>接写</u> 」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや目標を理解し、主体的に学習する。 ・テーマに基づいて自身が撮影した写真から、素材を選び、構図や表現について構想を練る。 ・主題となる素材の魅力やイメージ、色の深みを丁寧に捉え、精密に表現する。 ・主題と背景との対比を表現し、画面全体を魅力あるものに仕上げる。 ・合評会 	<p>a:課題の主題や技法について正しく理解している</p> <p>b:素材を観察し特徴を捉えて表現を工夫できている</p> <p>c:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している</p>	取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り
2・3	卒業制作	<ul style="list-style-type: none"> ・自身が選んだテーマに基づいて、高校生活の記念となる平面作品を制作する。 ・木製B1パネルを用い、油彩、水彩、コラージュなど、思い思いの技法を使って平面作品を制作する。 ・各自が制作手順と日程の計画を立て企画書を作成する。 ・合評会 	<p>a:制作意図に基づき、主体的に作品を作り出すことができる</p> <p>b:想像力を働かせ、自由に柔軟な発想で作品を制作できる</p> <p>c:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している</p>	取組状況 提出作品	企画書 アイディア スケッチ 提出作品	取組状況 振り返り

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「書Ⅲ」 (光村出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

これまでの書道における表現と鑑賞の幅広い活動を通して深めてきた理解や技法をもとに、主体的な創造活動を行います。自らの施行や個性を書で表現する楽しさを学びましょう。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。(a)書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。(b)書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。(c)主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	創造的な書表現をするために、書の表現の方法や形式、多様性についての基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技術を身に付けている。	書の良さや美しさを感じ、感性をはたらかせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現の工夫をしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書の美と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・臨書や鑑賞を通じて、各古典の用筆法・運筆法や、表現の特徴を理解し、自らの意図や感動を表現できる技法を習得する。 ・主体的に習得した技法を用いて創造活動に取り組む。 ・創造した作品を鑑賞しあおう。 ・作品展への出品を目指す。 	<p>a:基礎的な能力を身に着け、効果的な表現の技法を用いることができる(技)</p> <p>b:古典のよさや美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされている。</p> <p>b:書の良さや美しさを創造的に味わっているか。(鑑)</p> <p>c:書に関心を持ち、主体的に活動に取り組んでいるか。(主)</p>	作品	プリント	振り返り プリント 観察
2	仮名の書の文化と伝統	<p>様々な古筆の特徴を理解し、意図や感情を表現できる技法を習得する。</p> <p>臨書や鑑賞を通じて、用筆法や運筆法を理解し、主体的に創造活動に取り組む。</p> <p>創造した作品を鑑賞しあおう。</p>	<p>a:基礎的な能力を身に着け、効果的な表現の技法を用いることができる(技)</p> <p>b:古典のよさや美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされている。</p> <p>b:書の良さや美しさを創造的に味わっているか。(鑑)</p> <p>c:書に関心を持ち、主体的に活動に取り組んでいるか。(主)</p>	作品 作品	プリント プリント	振り返り プリント 観察 振り返り プリント 観察
	創作	<p>自己の表現を求め、自らの思考や感動を表現する語句と書表現の関係について考える。</p> <p>用具・用材による表現の変化を楽しみ、創造的表現を工夫する。</p>	<p>a:基礎的な能力を身に着け、効果的な表現の技法を用いることができる(技)</p> <p>b:古典のよさや美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされている。</p> <p>b:書の良さや美しさを創造的に味わっているか。(鑑)</p> <p>c:書に関心を持ち、主体的に活動に取り組んでいるか。(主)</p>	作品	プリント	振り返り プリント 観察

※令和4年度以降入学生用

3	創作	<p>自己の表現を求め、自らの思考や感動を表現する語句と書表現の関係について考える。</p> <p>用具・用材による表現の変化を楽しみ、創造的表現を工夫する。</p>	<p>a:基礎的な能力を身に着け、効果的な表現の技法を用いることができる (技)</p> <p>b:古典のよさや美しさを感じ、意図に基づいた表現の工夫がされている。</p> <p>b:書の良さや美しさを創造的に味わっているか。(鑑)</p> <p>c:書に関心を持ち、主体的に活動に取り組んでいるか。(主)</p>	作品	プリント	<p>振り返り プリント</p> <p>観察</p>
---	----	---	---	----	------	--------------------------------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	404
------	-----

令和6年度 美術科

教科	美術	科目	(学)基礎デザイン	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	プリント教材						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・目的や機能から考える「デザイン」の基礎知識や技術について学習します。 ・表現形式の特性や形態・色彩などについて理解し、個性を生かして創造的に表現する技能を身につけましょう。
--

2 学習の到達目標

<p>デザインに関する知識や技術を習得しながら、目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成し、創造的な表現ができる力を身につけることをめざす。(a) デザインの社会的な役割について考察し理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を工夫できる知識と技術を身につける。(b) 色彩や形などの造形的要素の働きを考えて表現の構想を練り、創造的に表す力を身につける。(c) 目的、機能、美しさなどを考えて主体的に主題を生成し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につける。</p>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	デザインの社会的な役割について考察し理解を深め、意図に応じて表現方法を工夫できる知識と技術を身につけている。	色彩や形などの造形的要素の働きを考えて表現の構想を練り、創造的に表す力を身につけている。	目的、機能、美しさなどを考えて主体的に主題を生成し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を身につけている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	色彩の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩と構成に関する基礎知識を学ぶ ・飛び出すカードを制作する 	a:色彩の要素や効果について正しく理解している b:創造的な表現を工夫している C:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り
	ポスター制作	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩や構成による視覚効果を理論的に学ぶ ・学校をより良くするためのポスターを制作する ・合評会 	a:色彩の要素や効果について正しく理解している b:創造的な表現を工夫している C:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出作品	提出作品 合評会	取組状況 振り返り
2	椅子のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ・どこで・誰が・何の目的で使うかを各自で設定し、コンセプトに合ったデザインを設計する。 ・デザインに合った素材を探し、モデルを制作する。 ・プレゼンテーションで意見交換をする。 	a: 目的に適した素材を選ぶ知識を身につけ、素材の特性を生かした技法を理解している b:出来上がりをイメージして、素材を効果的に扱うことができている C:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出物	提出物 プレゼン	取組状況 振り返り
	ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの意味や必要性について理解し、チームで企画・立案する流れを学ぶ ・水貼りの技術を学ぶ ・チームごとにプレゼンテーションボードを作成する ・プレゼンテーション 	a:ユニバーサルデザインの意味や必要性、効果について正しく理解している b:チームで協力して企画し、社会をよくするためのデザインを創造することができる C:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出作品	提出作品 プレゼン	取組状況 振り返り
3	シルバーアクセサリー	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーリングのデザインをし、純銀粘土で作品を制作する。 	a:素材の特性を理解し、適切に扱うことができる b:想像力を働かせ、自由に柔軟な発想で作品を制作できる c:より良い作品作りのために試行錯誤し努力している	取組状況 提出作品	提出作品	取組状況 振り返り

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	404
------	-----

令和6年度 芸術科

教科	芸術	科目	(学)ピアノ実習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	プリント配布 (運指、幼児教育使用の童謡)						
副教材等	「標準バイエルピアノ教則本 全音ピアノライブラリー」(全音楽譜出版社) 「やさしく弾けるピアノ伴奏保育の歌」 (新星出版社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

ピアノ実習では、基本的な運指 (指の運び方) や音符の読み方を学び、実際に幼児教育の現場で使用する楽曲を演奏します。楽器の技術を習得するためには、毎日コツコツと練習する時間と気持ちが必要です。また、演奏できなかった楽曲を演奏できるようになったとき、できるようになった理由を考えることが理解することと関係しています。

技術の習得には個人差があります。幼児・教育関係の学校に進学する予定の皆さんは、入学後、必ず楽器のレッスンがありますので、授業だけでなく外部でレッスンを受けるなどしましょう。

2 学習の到達目標

音楽表現と鑑賞の学習を通して、以下に示す (ア) (イ) を学習の到達目標とします。(1) 楽譜の読み方の習得 と (2) 運指の技術の学習を通して、(ア) 演奏における客観性と多様性について理解を深めるとともに、理解したことを生かした演奏をするために必要な技能を身に付けるようにする、(イ) 音楽作品を尊重して演奏したり鑑賞したりする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力を身に付けている。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせを理解している。	主体的・協動的に器楽の技術を習得する学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤の位置などを学習 ・音の聞き取り ・基本的な運指(バイエルの学習) ・旋律を弾く技術の習得(片手ずつ) 	<p>(a) 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力を身に付けている。</p> <p>(b) 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせを理解している。</p> <p>(c) 主体的・協動的に器楽の技術を習得する学習活動に取り組もうとしている。</p>	習熟度 チェック 取り組み 状況 実技試験	実技試験 取り組み 状況 協働的な学習 (運指)	ワークシート記入 観察法 取り組み 状況
2	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律を弾く技術の習得 ・ピアノを弾きながら歌う練習(弾き歌い) ・強弱・テンポを学ぶ ・童謡の学習 	<p>(a) 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力を身に付けている。</p> <p>(b) 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。</p> <p>音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせを理解している。</p> <p>(c) 主体的・協動的に器楽の技術を習得する学習活動に取り組もうとしている。</p>	習熟度 チェック 実技試験 取り組み 状況	実技試験 取り組み 状況 協働的な学習 (テンポや強弱)	ワークシート記入 観察法 取り組み 状況

※令和4年度以降入学生用

3		<p>・バイエル教則本と幼児教育現場で使用する楽曲の学習 ・実際に幼児教育の現場で使用されている楽曲を使った実習</p>	<p>a) 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力を身に付けている。 (b) 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせを理解している。 (c) 主体的・協動的に器楽の技術を習得する学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>習熟度 チェック 実技試験 実技試験 取り組み 状況</p>	<p>実技試験 取り組み 状況 協働的な学習 (楽曲の構成や視唱・視の進め方)</p>	<p>ワークシート記入 観察法 取り組み 状況</p>
---	--	---	---	--	---	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

令和6年度 芸術科

教科	芸術	科目	硬筆・ペン習字	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書							
副教材等	プリント						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日常生活のあらゆる場面で行かせることを理解し、読みやすく美しい文字を書くためにここで目標を立て、活用できるように学びましょう。

2 学習の到達目標

書が生活のあらゆる場面で活かせることを理解し、用途や目的に合った表現方法を選択し、活用できるように様々な表現方法を習得する。文字により文化が伝達・継承されてきたことを理解し、読みやすく美しい文字を書くことの必要性を学び、その技能を習得する。

(a) 書における基本的な様式・表現効果を理解し、知識を身に着ける。
 (b) 目的や用途に即した書式や表現を選択し、表現する技能を身に着ける。
 (c) 書が身近であることを実感し、生涯にわたり書を愛好する心情を育み、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	文字や書の伝統や文化について幅広く理解する。 創造的かつ効果的な書表現をするために、使用する筆記用具の特性を理解し、表現方法を選択し活用できるよう、様々な表現技能を習得する。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、書の荘王的活動の喜びを味わい、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書が身近であることを実感し、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に書の表現及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

月	学	名	元	単	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
---	---	---	---	---	------	-------------	------

※令和4年度以降入学生用

				知(a)	思(b)	主(c)
1	<p>印象 のいい文 字の書き 方</p> <p>漢字の (楷書) 学習</p>	<p>丁寧で読みやすい文字を 書く心情を育てる。 紙面・マスに対しての文字 の大きさの学習 ボールペンの用筆法</p> <p>部首名の学習 部首ごとの結構法を学習 する。 紙面・マスに対しての文字 の大きさの学習 横書きの文章のまとめ 方の学習 自分の名前や住所など を中心に履歴書の作成 を行う。</p>	<p>c:丁寧で読みやすい文字を書こうと 意欲的・向上心を持って取り組んでい る a:筆記具に応じた持ち方や用筆法を 身に着け表している。</p> <p>a:文字を美しく書くための方法を理 解し、文字の大きさ・配置などを工夫 している。 b:他社の作品と自分の作品とを比較 し、共通の長所・短所を模索すること で、配置や結構法などバランスとは何 かを考えその良さを味わっている。</p>	作品	プリント	<p>振り返り プリント</p> <p>観察</p>
2	<p>縦書きの 文章の練 習</p> <p>行書によ る学習①</p> <p>行書の学 習②</p>	<p>はがき・封筒の表書きの書 式 縦書き文章のまとめ方の 学習 手紙を題材に縦書き文章 のまとめ方 時候の挨拶など日本文化 としての手紙の書式を学 ぶ</p> <p>自分の名前の楷書・行書 の違いを意識して書く。 前単元を行書を扱い学習 する。</p> <p>前項の内容を踏まえ筆ペ ンを使用し年賀状や祝儀 袋などの書き方を学習す る。</p>	<p>c:丁寧で読みやすい文字を書こうと 意欲的・向上心を持って取り組んでい る a:文字を美しく書くための方法を理 解し、文字の大きさ・配置などを工夫 している。</p> <p>c:新しい書体について関心もち、 意欲的に取り組んでいる。 b:楷書・行書の違いを観察し、表現 に結び付けその良さを味わっている。</p> <p>a:行書の特徴を踏まえた文字を美し く書くための方法を理解し、文字の大 きさ・配置などを工夫している a:筆ペンを効果的に使用する技能を 身に着け表している。</p>	作品	プリント	<p>振り返り プリント 観察</p> <p>振り返り プリント</p> <p>観察</p>

※令和4年度以降入学生用

3	感謝状の制作	卒業にあたり、筆ペンを使用し、感謝状を作成する。感謝状の書式・規範に従い制作することで、文字の大きさ・配置などを工夫し、文章全体のバランス感覚を養う。	<p>a: 感謝状の制作時の規範に従い制作している。</p> <p>b: 筆記具の違いを理解し、太さの違いと文字の大きさの変化をつけ、見やすく訴求力の高い作品を工夫して制作している。</p> <p>b: 他社の作品と自分の作品とを比較し、共通の長所・短所を模索することで、配置や結構法などバランスとは何かを考えその良さを味わっている。</p>	作品	プリント	<p>振り返り プリント</p> <p>観察</p>
---	--------	---	---	----	------	--------------------------------

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度